

# 安心して暮らせる環境充実

夢と誇りある 生活のために



新たな町の拠点となる新庁舎の完成

## 9月定例会議

9月定例会議は、9月2日から9日までの8日間の日程で行われました。町長から提出された議案は、3年度会計の決算認定のほか4年度補正予算など11件が提出され、原案どおり『決定』しました。一般質問は3人の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。

## 起債の繰上げ償還を評価 監査委員の意見

### 【概要】

3年度決算はすべての会計が黒字です。普通税の徴収率が前年度を上回り、使用料などを含めた未収金も、446万円減少しております。引き続き職員の徴収に対する取り組みの創意工夫を求めます。

全会計の地方債は前年度に比べ増額したものの

臨時財政対策債を繰上げ償還し、財政健全化対策に努めているところは高く評価するものです。

また、3年度は引き続き新型コロナウイルス感染症対策のほか経済対策事業等、全庁あげて迅速に事業展開されており、住民生活の安心安全につながったものと評価します。

## 全会計が黒字決算

3年度の全会計の総支出額は、100億9568万円、前年度比8309万円、0.8%増加しました。

一般会計の支出額は、89億610万円、前年度比3201万円、0.4%の増加です。住民税非課税世帯等臨時特別給付金や高齢者福祉施設建設事業、道の駅レストラン建設事業などが主な要因です。

三つの特別会計の支出総額は11億8957万円、前年度比5107万円、4.5%増加しました。

町の新たな拠点となる複合機能を兼ね備えた役場新庁舎が完成し賑わいの創出が期待される所です。

また、リモートワークを可能とする情報環境を備えた「サテライトオ

フィス」が整備され、デジタル社会における新たな働き方の実現が図られました。

一般会計決算の詳しい内容は、4～5ページをご覧ください。

## 3年度決算の状況

会計名	収入	支出
一般会計	92億5002万円	89億610万円
特別会計	国民健康保険事業	9億888万円
	農業集落排水事業	2億321万円
	後期高齢者医療事業	7747万円
合計	104億6224万円	100億9568万円

## 財政健全化判断比率は「健全」を維持

「財政健全化法」に基づく3年度の一般会計、特別会計、第3セクターなどの決算を含めた各指標は、いずれも基準を下回りました。

### ●健全化判断比率

各指標	4年度	3年度	比較
実質赤字比率 (15%)	赤字なし	赤字なし	-
連結実質赤字比率 (20%)	赤字なし	赤字なし	-
実質公債費比率 (25%)	8.3%	8.4%	△0.1
将来負担比率 (350%)	なし	5.5%	皆減

※各指標（ ）内の早期健全化の基準で、数値が低いほど健全な財政運営になります。

※将来負担比率は、将来負担見込額が充当可能な財源の額を下回り、比率なしとなりました。



意見書を提出する馬淵文雄代表監査委員

### ●資金不足比率

経営健全化基準は20%未満で、対象となる農業集落排水事業の資金不足は発生していません。